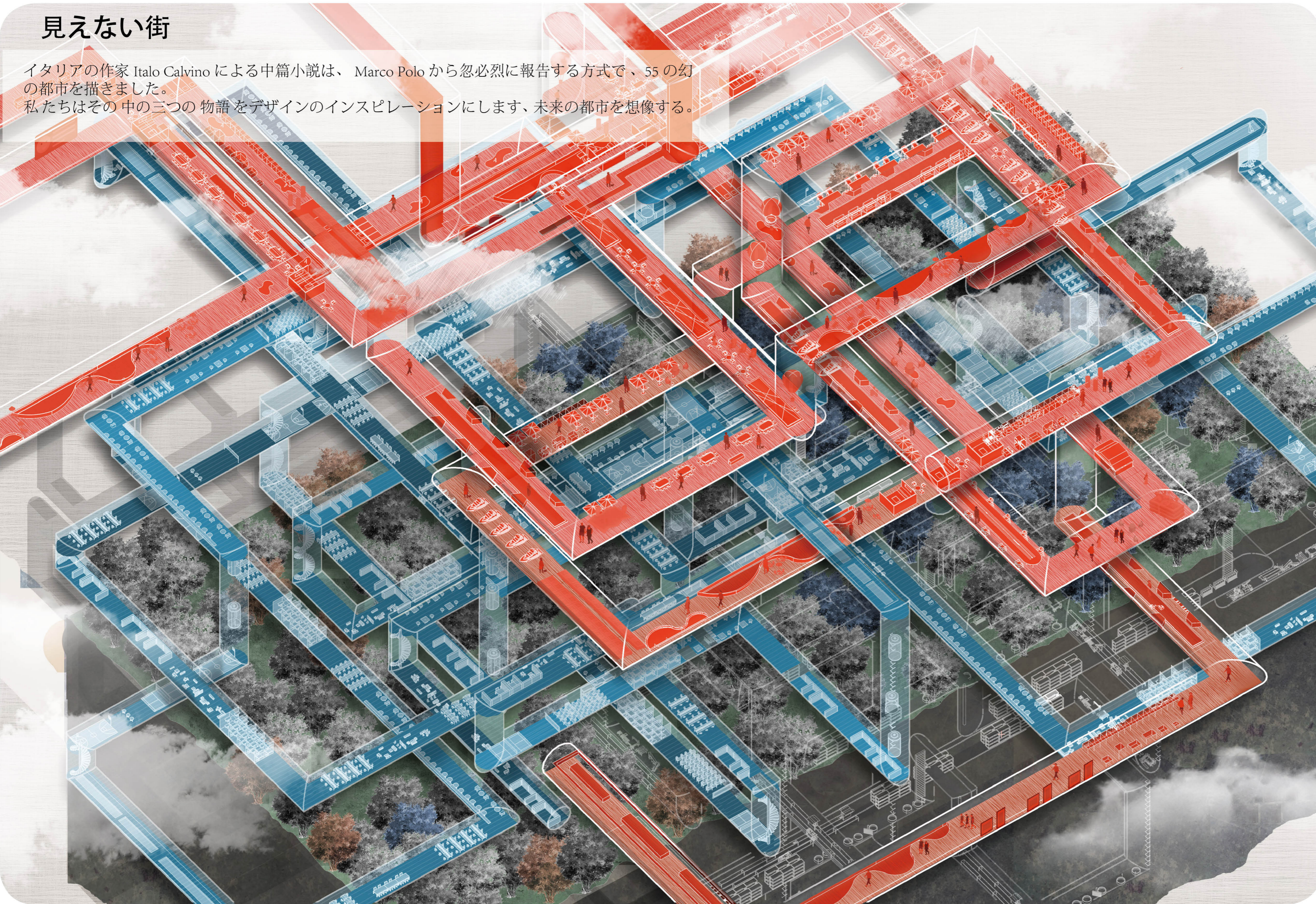


見えない街

イタリアの作家 Italo Calvino による中篇小説は、Marco Polo から忽必烈に報告する方式で、55の幻の都市を描きました。私たちはその中の三つの物語をデザインのインスピレーションにします、未来の都市を想像する。



都市と欲望の5つ

「一つの伝説があります：いくつもの国籍の男達が同じ内容の夢を見た。夢の中では、一人の女性が夜の都市を歩いていた。彼らが見るのは、長い髪に覆われ、裸の彼女の背中だけ。彼らは夢の中で彼女を追いかけましたが、最後に全ての人は彼女の跡を失ってしまいました。夢から覚めた男たちは、夢の中の都市を探しに旅立ち、やがてその都市を見つからず、探した人たちは次第に一緒にになり、夢の中の都市を作ろうと決めた。誰もが自分の夢の中の記憶に基づいて街を作り、女性の姿が消した場所には、夢と違う空間と壁を作って、二度と抜け出すことが出来ないようにした。」

都市は欲望を醸成させて、人を駆り立てて人々に欲望を求めて、この都市を掌握したと思っ、しかし実はあなたはただその奴隷です。

都市と目の一つ

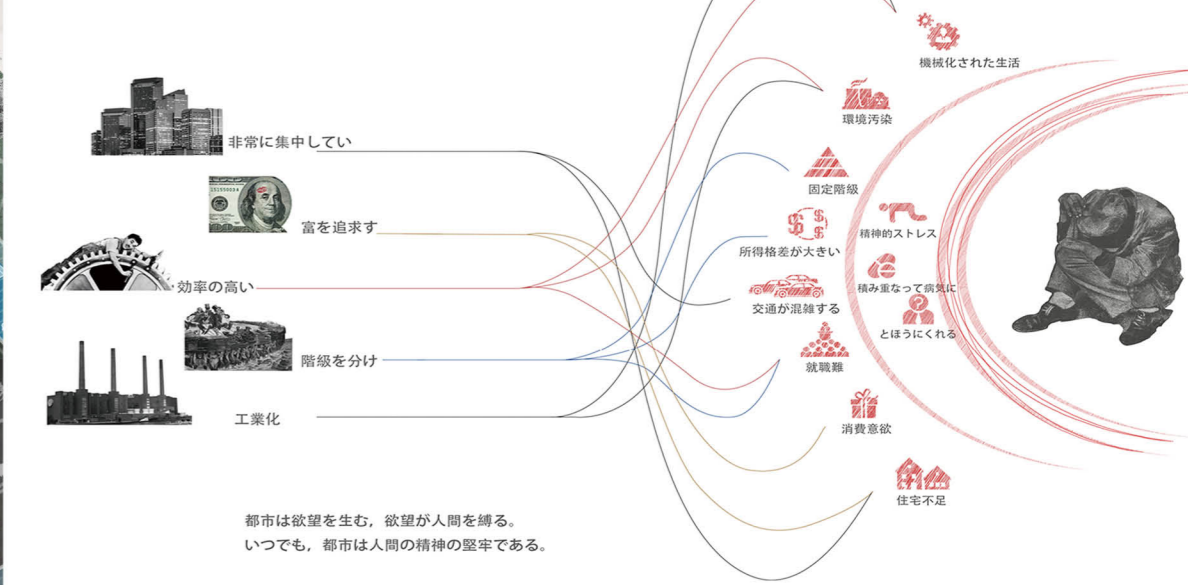
「ビバルディはデラは古人の湖畔で樹立した、高いながらの街は、湖の監視が鉄柵護壁のように固んで、ここに二つの城は直立湖畔で、一つ一つは湖の陰がワルデラはともかく、どんなことが起きてももう一つのワルデラは一回繰り返して、ビバルディはデラの住民を知って、彼らの一挙手一投足が鏡の中の木になって、すぐのイメージを持つ特別尊厳までして肌に合った恋人の裸の体を曲げ、最も楽な姿勢が殺人犯の刀を突き首の動脈の血のインデックスが多く、刃に刺しインデックス深い重要なものは彼らの交合や殺人ではなく、鏡の中のはっきりとした冷たいイメージの交合や殺人だ。」

人々は習慣的に最良の一面を見せて偽りの姿を作り、自分を覆い隠し、真我を閉じ、姿の見えないガラスの囚人の中にいる。

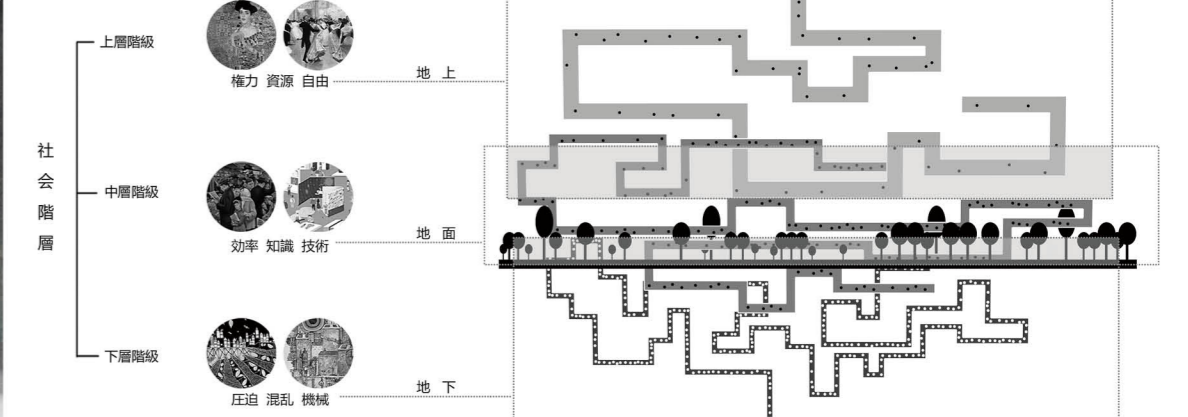
痩せた町その

「わからないアルに米を今の様子に、建設の完成はなかったが、やはり何らかの残照怪念を受けたり、どうせを破壊してない壁、屋根のない、床はない、それが全くなかった都市のように見えるものがホースを除いて、それらはべきは家屋の地方垂直に立て、ならではの床に横方向を伸ばし、丛のパイプに、末端は蛇口シャワー装置噴ローパーロー管道路が引き立ち白い浴槽の固やて、あるいは他ホウロウ器精速く熟した果実のようにあなたは水が喉匠生きてみると歩いて、建設労働者にまだ着工おそらく彼らの不朽の入室システムは大地震やアリの食生活から逃れたのかも知れません。」

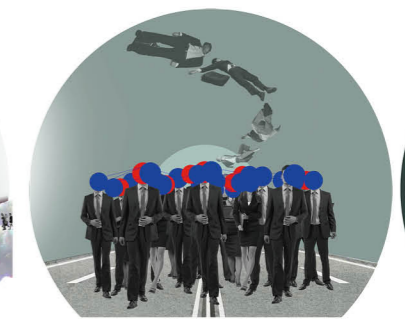
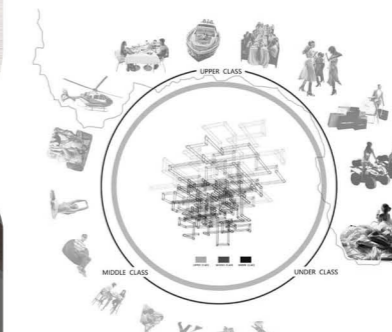
都市問題分析:



社会階級分析:



共和国におけるプラトンの3つのレベルの考え方を抽出し、パイプライン都市を地上の特権階級、地上の中間階級、および地下貧困層に分割します。パイプラインの上部中間層、中間層、および下部層は絡み合っており、社会を破壊し、階級の前進への望みを実現しようとして人々を殺しています。パイプラインのさまざまな層にはさまざまなライフスタイルがあり、富裕層は贅沢で無差別であり、生産物は販売され、知識は支払われ、貧困者は抑圧されています。そして、目に見えない存在としてのガラスは、人々の行動と思考を閉じ込め、2050年の都市空間の最大の存在となり、未来の都市の矛盾と対立を批判的に考えます。



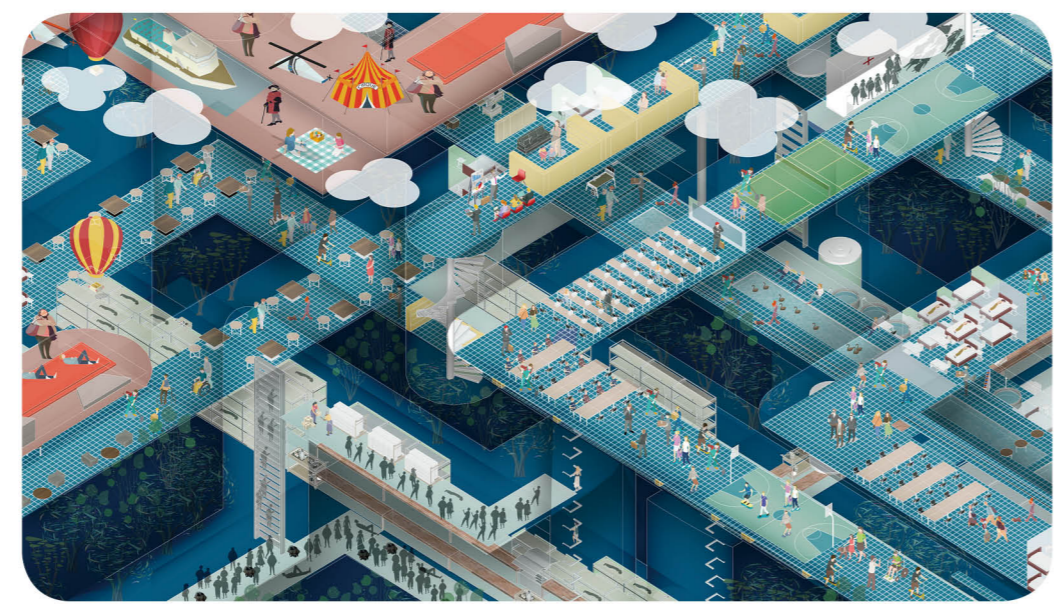
上層階級

中層階級

下層階級



上層階級



中層階級



下層階級